

# 選者総評

今年もたくさんの川柳をありがとうございます。皆さんの日常や心の内が少し分かり、嬉しく思いました。日常に一番密着しているためか、「料理」の句がとても上手だったように思います。

川柳は五七五のリズムを大切に、口語体で自分の思いを詠むものです。毎日の暮らしの中の喜怒哀楽、何でもいいのです。心の中にある思いを言葉にして、書いてみたり、声に出してみたりすると、喜びは倍増し、悲しみは半減したりします。これからも川柳を生活の中で活かしていってください。見える景色が変わってくるかもしれませんよ。

三本松市民センターで毎月川柳を楽しんでくれるグループがあります。ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております。



# 課題『飾る』

## ★佳作

着飾って今日もお出かけ七変化

阿部良一

吊しびな似た者見たり人模様

相澤浩

縁起物沢山飾り福よ来い

堤の風

七夕は街を彩り嬉しそう

庄司芳次

肩寄せて撮った写真を並べ置く

さっちゃん

## 特選

特選3 初雛飾り共に微笑む嫁姑

オイケイ

なかなか難しいのが嫁姑だが、赤ちゃんはだれにとっても可愛いもの。女性3人でのお雛祭りもいいのかも。楽しい一日をお過ごしくださいね。

特選2 灯つき家族がつどう盆飾り

テヌキババ

家族が集合するのは、お盆とお正月くらいだが、今はそれもなかなか実現しないことが多くなった。コロナも5類になり、久し振りに今年は皆でお墓参りができたのでしよう。よかった、よかった。

特選1 「オオタニサン」 兜動けば世界湧く

佐藤 武

今年のエンゼルスホームラン後の帽子は兜になった。世界中の人が注目している大谷選手の活躍と同時に日本人としては、嬉しい光景。怪我の状態は少し心配。無理はなさいませうように。

# 課題『料理』

★佳作

亡き妻の肉じゃがが恋し真似をする

づぼらや

単身が腕を振るった冷やっこ

すっぴん太郎

真似できぬ同じレシピで母の味

エミリー

新婚の弁当箱にある絆

鈴木邦雄

料理する妻の背中に手を合わす

小野寺 彰



特選

特選3 ひと品がプラス笑顔の給料日

大東岳夫

どこの家庭でも給料日は嬉しいもの。ひと品のプラスは何でしょう。時代とともに食生活も変わった。ステーキはもう古い？令和のプチ贅沢は…。

特選2 おいしいね魔法の言葉腕上がる

きーぷうー

今はお母さんだけが料理をする時代ではなくなりました。お父さんや少し大きくなったお子さんが作る家庭も多い。作った人が誰であっても「おいしいね」と言われることは嬉しい。「よし、また作ろう！」と。

特選1 まぜ御飯我が家の模様そのまんま

渡辺 美登里

面白い発見。確かにどこの家庭でも同じ人はいない。それぞれの個性がうまく調和し、家族となって暮らしている。どの味一つが欠けても何か物足りなくなる。まぜ御飯は美味しいですよ

# 課題『自由吟』

★佳作

墓守りお盆近づき花育て

いつこ

雨の日は絵手紙描いて友思う

きみ

西瓜割り目隠し外し笑みこぼれ

伯楽星

ムチャ振りをされるときだけ「おかあさま」

陽気痺

猛暑日に風鈴の音が応援歌

慶ちゃん



特選

特選3 亡き父の洋服を着て墓参り

ケンちゃん

もう何年も押入れに入ったままのお父さんの洋服。そろそろ断捨離をしようとして見つけた。処分する前に着てみる。形は古いが、来て違和感のない年になっていた。自分史の一コマ。

特選2 推し活で勤労意欲湧き上がる

デア

推しがいることは、生活に張りが出る。人生の楽しみの一つ。しかし、ハマり過ぎると大変。上手に人生をエンジョイしよう。

特選1 寿の知らせ心に花が咲き

くまりん

寿の知らせと聞いて、一番に思いつくのは、結婚の知らせ。今は生き方も多様化し、結婚を望まない人も多い。それもまた良し！だが、幸せそうな二人を見るのも嬉しい。作者の心には、ほんわり温めてくれるような花が咲いたのでしょうか。